

うなづき

[場所] 黒部市宇奈月老人福祉センター

介護予防通所事業

生き生き倶楽部

時間/9:30~15:00

参加無料!

対象/65歳以上の方



※■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
31	1 レクリ エーション	2 レクリ エーション	3	4 レクリ エーション	5 レクリ エーション	6
7	8 音楽教室	9 音楽教室	10 音楽教室	11 建国記念日	12 音楽教室	13
14	15 自力整体	16 自力整体	17	18 自力整体	19 自力整体	20
21	22 健康体操B	23 健康体操A	24	25 健康体操B	26 健康体操A	27
28	29 季節行事	1	2	3	4	5

時間/10:00~
 健康体操A・・・村田 あゆみ先生
 健康体操B・・・石田 みどり先生
 自力整体・・・稲田 清美先生



～冬でも水分補給を忘れずに!～

風邪予防には、うがい・手洗いですが「水分補給」も大切です。水分補給は、喉や鼻の粘膜を潤して、ウイルスの侵入を防ぎます。

また、水分摂取量が減るこの時期、血液がドロドロになり、血管が詰まりやすく、脳卒中や心筋梗塞を引き起こす可能性が高くなります。風邪や脳卒中、心筋梗塞の予防の為にこまめに水分補給をしましょう!



お問合せは生き生き倶楽部の
担当:山内まで TEL.(0765)65-1820

福祉・ボランティアに関することは

黒部市社会福祉協議会

http://www.kurobesw.com/

●本所 黒部市福祉センター内
〒938-0022 黒部市金屋464-1
TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター)
Eメール kurobesw@ma.mrrr.jp

●宇奈月支所(東部包括) 黒部市宇奈月老人福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111
TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

くろべ

[場所] 黒部市福祉センター

介護予防のための

元気はつらつ体操教室

時間/10:00~11:00

参加費/300円(入館料のみ)

対象/65歳以上の方



※■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2 体操	3 体操	4 体操	5 体操	6
7	8	9	10 健康体操	11 建国記念日	12	13
14	15	16 アロマ・ヨガ	17 アロマ・ヨガ	18 アロマ・ヨガ	19 アロマ・ヨガ	20
21	22	23 健康体操	24	25 健康体操	26 健康体操	27
28	29	1	2	3	4	5

時間/10:00~
 健康体操・・・樋口 瞬先生
 アロマ・ヨガ・・・村田 あゆみ先生
 体操・・・小森 亜希子先生



編集後記

私自身、子どもの頃によく声をかけてくださった近所の方のことは、大きくなって何となく覚えていて、今はあまり会う機会がないものの、時々「どうしておられるかな～」と気になります。今回の取材をとおして、誰かに大切にしてもらった記憶というのは、いくつになっても心に残っていくものだと、改めて感じました。

編集 西田



[黒部市の人口] 41,652人 [65歳以上の人口] 12,439人 高齢化率 29.7%
H27.12.31 現在(外国人を除く)

特集 子どもがつなぐ地域

地域の今を届ける密着レポート/年越しまつりを開催 福祉センターが大勢の人で賑わいました

地域のおしらせ/傾聴ボランティア養成講座受講者募集

連載/ふくしスマイル・ワーカー

etc.

📅 今月の表紙 スイセンと雪——暖かな日が続く春と勘違いして咲いたスイセンに遅めの雪が積りました

子育ての「お福分け」で つながる縁

岩井さんは昭和50年に黒部愛児保育園を設立され、その時にまず感じたのは、地域にとつての「子ども」という存在だったと話されます。

「保育園ができた当時、町内会費を納めようと町内会長さんのところへ行ったらんですが、『園長先生、もらわれん。町内の宝やから』と言われて…その言葉が本当に嬉しかったですね。また、子どもたちを乳母車にのせてお散歩に行くと、近所の方が家から出てきて『抱かせて〜』なんていいいって。そのうち、おやつを持たせてくれたりと近所の方の楽しみになって『まだこんか、まだこんか』と子どもとの出会いを待つようになられたんです。」

そういった地域住民の温かいまなざしに、保育所は地域の宝が集まっている場であり、地域にとつての大切な場所でなければならぬと感じた岩井さんは、子育てという喜びや楽しさを地域の方々と共有したいと考えたそうです。「保育士だけ、保育所の中だけの宝物にしているのはもったいない。お父さんお母さんはもちろん子ども、近所の方たちにも子どもと接するこのしあわせや喜



絵本の読み聞かせに夢中で聞き入る子どもたち

特集 子どもが つなぐ地域

共働き世帯や核家族世帯が増加傾向にあり、より一層安心して子育てができる環境の整備が求められている今、次代を担う子どもたちをどのように地域で育てていくのか。

今回の特集では、家庭に寄り添い、子どもたちの育ちを支援する黒部の保育の取り組みをとおして、これからの地域と子育てについて考えます。

安心して 子育てができる地域に

平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」が施行され、質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供し、地域の子ども・子育て支援を充実させ、子育てがしやすい社会を実現していくために、さまざまな取り組みが進められています。

黒部市内の幼稚園・保育所・子ども園においても、日々地域の子どもたちが過ごす場として体制・環境などの整備が進められる中、子育てを大切にできる地域社会へという思いで活動に取り組んでこられた、社会福祉法人あいじ福祉会の理事長であり、三日市保育所所長の岩井恵澄（いわい えちよ）さんにお話を伺いました。

れるようで、地域の支えや声かけが保育所にとっても大きな存在となっています。

上手だね



子どもたちを 見守る「目」

荻生保育所の宮本直子（みやもと なおこ）所長は、「こうした地域住民の参加が子どもたちや地域の「安心」につながっていると話されます。

「シニアサポーターをはじめ、地域の方が一緒に水遊びや着がえのお手伝い、正月遊びなど、子どもたちと交流して下さることで、見守る『目』が増えていくことがありますがたいですね。子どもたちがどこかへ遊びに行った時に知った顔があることは安心につながるし、核家族が多いのでおじいちゃんおばあちゃん世代と関わる経験にもなる。それは、お父さんお母さんたちにとつてもいいことだと思えます。」

また、シニアサポーターではなくても、地域の子どものための遊ぶ大きな園庭に草が生えてきている様子を見て「先生たち大変やろう？時間のある時に来るからね」と自ら声をかけて除草して下さる方や、家にある孫の本や自転車を寄付して下さる方などもおら



子育ての喜びを共有したいと語る
三日市保育所の岩井所長



（※1）シニアサポーター 保育所や放課後児童クラブなど地域の身近な施設で、交流会への参加や読み聞かせ、保育・給食の補助など、様々な支援活動を行う。

荻生保育所ではシニアサポーターのみなさんが昔からある正月遊びを子どもたちと一緒に楽しんでいます

関わりの中 で育まれる「心」

うらやま保育園でも、さまざまな形で地域住民との交流をとおして、子どもたちの心が育まれています。上野京子（うえの きょうこ）園長は、「絵本の読み聞かせや大正琴の演奏、家で採れた珍しい野菜や花の提供など、さまざまなボランティアの方々に関わっていただいています。おかげで子ども

たちの感性も育ちますし、大切な関わりだと思えます」と子どもたちの育ちの上でも大切なものであると話されます。



読み聞かせを行っている「おはなしたんぼほ」の上坂さん

また、保育園から地域へ出向いて活動することもあるそうで、「年に4〜5回地域の老人福祉施設で、老人クラブやシニアサポーター、施設におられる方と一緒に活動するんですが、そこには自分の家族のような人がいるんだということを受け入れられる子になってほしいという願いがあります。そして、保育士だけではなく地域のいろいろな方に可愛がっていただく、愛情をいただく、しっかり見つめて自分のほうを向いてもらうという経験が、子どもたちにとって人との関わり方や社会性を学ぶことにもなるのかなと思いますね」と、人と交流するなかで感じるやさしさや温かさが、子どもたちの育ちの豊かさへとつながっています。

子どもをとおして 生まれるつながり

地域の子どもたちが過ごす場所にさまざまな人が関わることで、育まれていく見守りの目や子どもたちの豊かな心。実際に子どもたちと関わる三日月市保育所のシニアサポーターの皆さんは、「子どもたちの『また来てね』と見送ってくれる姿や『この本読んで！』と寄ってきてくれる姿が嬉しいのよ」「ここに来たら子どもたちから元気をももらえるんです」と、活動の楽しさや喜びを生き生きと話されます。



子どもと一緒に新幹線ごっこ

共働き世帯や核家族世帯などが増加傾向にある中、子どもたちが安心して過ごせる地域、そして安心して子育てできる地域づくりが求められています。子どもたちが過ごす場所や保護者だけでなく、地域の方々がそれぞれにできることを通じて子どもたちに関わることで、「地域の子ども」を想う気持ちが生まれ、その温かいまなざしや声かけが、次代を担う子どもたちを育んでいきます。また、子どもたちと接することでもらう喜びや温かな気持ち、地域の人々を元気にし、声をかけあうきっかけを生んでいます。だからこそ、地域のつながりを作る役割の一端を担う子どもたちは、地域にとって大切な存在なのです。



旬の食材の扱い方も丁寧に教えてくれます

活動レポート

年越しまつりを開催

福祉センターが大勢の人で賑わいました

12月19日（土）、黒部市福祉センターにて「年越しまつり」を開催しました。

当日は、市福祉センターを無料開放し、輪投げやスカットボールなどの縁日コーナーや大野光子氏による民謡や黒部RAY乱舞隊のよさこい演舞を披露していただき、来場された約300名の方々からは、笑顔があふれていました。

この事業は、赤い羽根共同募金より一部助成金を受けて行っており、各コーナーでたくさんの方々に募金をいただきました。

募金総額
145,867円

赤い羽根共同募金へ
寄付いたしました
多額の募金
ありがとうございました

赤い羽根共同募金



大野光子氏の民謡に聴き入る会場



うまいまい!と盛り上がる縁日コーナー

料理や体操で、 身も心もほっこりしました



12月16日（水）—さんさんまえざわ

ボランティア・参加者の28名でいとこ煮やふろふき大根を作りあげ、味わいました。体操で身体もほぐれ、くつろぎのひと時となりました。

華やかなお正月飾りが 完成しました



12月16日（水）—黒部市福祉センター

正月に向けて、参加者14名は花や竹などを使った個性あふれる色鮮やかなミニ門松などを作りました。

来て見てヤンバイ映画館

開催時間:13:30から 入場無料

2月2日(火) 「希望の乙女」
場所 荻生の館

今月の相談日

民生委員児童委員と心配ごと相談
行政相談員と行政相談 **ご予約不要**

黒部市福祉センター 2月9日(火)13:30~15:30
(金屋464-1)

黒部市立中央公民館 2月18日(木)13:30~15:30
(宇奈月町浦山2100-2)

弁護士と法律相談 **予約受付2月1日より**

黒部市福祉センター 2月16日(火)13:30~15:30

富山県東部生活自立支援センター
生活自立支援相談 **予約受付2月1日より**

黒部市福祉センター 2月15日(月)10:00~11:30

催し物と休館日のご案内

黒部市福祉センター 利用時間/ 8:30~16:30

2月の催し物

13日(土)	YKK社友会歌謡同好会発表会	10:30~
23日(火)	歌謡サークル発表会	10:30~
27日(土)	華の会歌謡ショー	10:30~
28日(日)	はまなすカラオケ踊笑の会	10:30~

休館日 毎週月曜日(1日・8日・15日・22日・29日)・12日

※2月12日(金)は建国記念日の振替休館となります。



今月のクラブ

囲碁・将棋クラブ
毎週金曜日(5日・19日・26日)

元気カラオケクラブ/健康麻雀クラブ
木曜日(25日) 健康麻雀は4日・18日も開催

今月の湯

入浴時間 10:00~16:00

- 2月 2日(火)~ 7日(日) …… アロエの湯
- 2月 9日(火)~14日(日) …… 紅葉の湯
- 2月16日(火)~21日(日) …… みかんの湯
- 2月23日(火)~28日(日) …… ローヤルゼリーの湯

誕生日のお祝いに
センターの入浴券はいかがですか?
11枚綴り 3,000円

イベントpick up!

骨強化 カルシウムたっぷり 料理教室

骨粗鬆症を予防しよう

加齢に伴い骨密度は減少し、転倒、骨折、寝たきりになる危険性が高くなります。カルシウムたっぷりレシピで、みんなで料理を楽しみませんか?

平成28年 2月24日(水)

[時間] 10:00~13:00

[場所] 大布施公民館 料理実習室

[人数] 16名程度

[参加費] 500円

[持ち物] エプロン、三角巾、タオル

※申し込みは2月22日(月)まで

※定員になり次第受付を終了します。



お申し込みはこちら

黒部市社会福祉協議会 TEL(0765)54-1082

イベントpick up!

囲碁将棋 大会開催

2日間にわたって囲碁・将棋大会を行います。入賞者には豪華景品もご用意しております。

平成28年 3月4日(金)・11日(金)

[時間] 9:30~15:30

[場所] 黒部市福祉センター 大広間

[対象者] 市内在住の概ね60歳以上の方

[参加費] 1,500円(2日間の入館料・昼食代含む)

※申し込みは3月1日(火)まで

お申し込みはこちら

黒部市社会福祉協議会 TEL(0765)54-1082



ふくし スマイル ワーカー

スマイル
Vol.26



社会福祉法人新川児童福祉会
大布施保育所
保育士

中島 彩さん(26)

過ごす環境を整え、
生活を見守っています

心からの笑顔で、 子どもたちの気持ちに寄り添いたい

子どもたちが集団生活をととして、相手の気持ちに気づいたり、考えたりすることを学べるよう、日々の言葉がけを大切にしておられる中島さん。昔から子どもが好きで、子どもと関わる仕事がしたいと考える中、高校時代の保育実習での経験を機に保育士を目指したそうで、「成長していく姿や『待ってよ〜』と駆け寄ってくる姿にやりがいを感じますね」と話されます。「1歳・2歳でも気持ちは伝わるので、大切なことは言葉にして伝えるようにしていますね。それと、心からの笑顔で接するために、自分自身も子どもたちと一緒に遊びを楽しんでいます」と語る中島さんの笑顔が、明るく輝いていました。

傾聴ボランティア — 養成講座受講者募集 —

この講座では、「聴く」ことによって、相手の心に寄り添う傾聴の技法について学びます。この機会に「傾聴」を学び、地域のボランティアとして活動してみませんか。

第1回:平成28年3月 7日(月)傾聴ボランティアの基礎

第2回:平成28年3月14日(月)実践に向けての演習

[時間] 10:00~12:00

[場所] 黒部市民会館 201会議室

[講師] 富山国際大学 子ども育成学部
教授 村上満氏

受講
無料

締め切り

2月22日
(月)

お申し込みはこちら

黒部市社会福祉協議会 黒部市金屋464-1
TEL(0765)54-1082 FAX(0765)52-2797

雪かき 内山地区一斉 ボランティア募集

内山地区で除雪活動が困難な世帯や支援が必要な場所に対して、地区と協力しながら除雪作業を行うボランティアを募集します。

平成28年 2月20日(土)

[時間] 9:00~13:00

[場所] 内山地区周辺(公民館集合)

[定員] 50名

[参加費] 無料(昼食を準備しております)

[持ち物] 動きやすい服装でお越しください
着替えやタオル、手袋をご用意ください

お申し込みはこちら

黒部市共同募金委員会
担当 佐渡まで(TEL:54-1082)

この事業は赤い羽根共同募金「あったか雪募金」の助成金により実施されています。

地域福祉の
ために

黒部市社会福祉協議会に
寄付をいただきました。
ありがとうございました。

- 黒部市茶道連盟 様
- 黒部市地区ボランティア部会協議会 様
- 黒部民謡清韻会 様
- 野畑 正應 様(荻生) ●山本 陽一 様(大布施)